

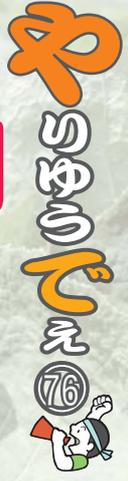


笑い、楽しみ、幸せになる地域づくり

しょうがっこう

「夢の郷 西川にここに笑楽幸」

西川地区集落活動センター



昨年4月、香我美町西川地区の旧西川小学校跡地に新しくできた西川公民館は、県内8カ所目の集落活動センターとして活動を開始。住民みんなが笑い、楽しみ、幸せに暮らせる地域づくりの拠点となるよう、元気に活動されています。(施設概要は平成25年広報5月号に掲載)

担当/広報編集委員 久保きみ

人々が集まる場所

地場産品直販所「あぐりのさと」を過ぎると左手にある、木をふんだんに使った温かみ溢れる真新しい建物同センターです。玄関には立派なモミの木、クリスマスツリー。「こんな物もあつたらえいろう言うて地区の人が持ってきたがよ」と話されたのは、同センター推進協議会会長の黒岩靖夫さん。何とツリーに飾られていたのは黄金に輝く発泡酒の空き缶。それを見ただけでこの地区の和気あいあいな盛り上がりが見えました。

積極的な部会活動

活動は「夢部会」「支え合う部会」「集う部会」の大きく3つの部会から形成されています。「夢部会」では耕作放棄地の開墾を行い、フキや、じゃがいも、大根、玉ねぎなどの作物を作っています。「田んぼの肥やしは人の足音」と言われ多くの人がこまめに足を運び、作業をすることで収益をあげ、次世代へつなげて行きたいと協力し合っています。また「西川のお宝探し」と題し高知大学生との交流も。高齢者から昔の生活の様子を聞き、4班に分かれ地区を歩くと普段何気なく見過ごしている物や場所が、学生たちの視線や発想により新たな発見があり、お互いに刺激になったそうです。

「支え合う部会」では60才以上の住民を対象にアンケート調査を実施。住民が豊かに楽しく暮らせるようにイベントを計画し、サロン活動を行ったり安心・安全のサポートとして「見守り

活動」に取り組むなど、笑顔と生きがいに寄り添っています。

そして「集う部会」は、花公園や秋葉山のハイキングコース整備などの作業に汗を流し、今後は春の花祭りに向け花公園に東屋と展望台の設置やトイレの改修なども計画中で、内外のお客さんを迎える準備に大忙し。

自分たちの手で未来へ

他にもまだまだ紹介しきれないくらい、たくさん活動されています。それらは全て住民が中心となり「してもらおう」ではなく、自分たちで何ができるのかを考え「とにかくやってみる」。黒岩会長は「わが町は還暦古稀は青年部」と胸を張って言われ、その笑顔に「次は何をやるのか!」との意気込みが。「自分たちの望むまちづくりを自分たちの手で。そして未来世代へ手渡していける地域をどう創っていくのか知恵を絞っていかないかんね」と話されました。

1月11日(土)・12日(日)に開催される香我美町文化祭にて「夢部会」が商品開発した、ミカンやショウガジャムなどの試食会を行います。オリジナル商品をお試しあれ! (12日は出品のみ)



黒岩靖夫さん



▲空き缶で飾りつけたクリスマスツリー

ホームページ 検索

西川地区集落活動センター



編集後記

▼今年、広報誌は100号を迎えます。そこで問題、第1号の表紙の写真は何だったでしょう? ヒントは香南市誕生のセレモニーです。香南市の歴史とともに歩んできた広報。これからもよろしくお願ひします。(猪)

▼帰宅すると我が家の猫が玄関まで毎日迎えに来てくれます(むしろ、猫しか来ない)。こんなに優しいので、神様、機会があれば今年こそ干支に猫を入れてあげてください。(w) (た)

▼表紙ではたくさんの方々に男に出演していただきありがとうございます。にぎやかな表紙になりました。私も実は年男。表紙のどこかに隠れています。わかるかな? (T)

▼我が家には「カレー赤飯」という、代々伝わる不思議なお正月料理があります。祖母から母に、母から娘に受け継がれる我が家の味。今年こそはレシピを習得しなければ! (あ)

「広報へのメール」

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp